令和8年度　日中活動支援部会全国大会
（四国地区高知大会）

大会テーマ　共に生きる未来を、共に語ろう

～今、改めて考える“自分らしく生きる”とは～



日程：令和9年2月18日（木）～2月19日（金）
会場：高知市文化プラザかるぽーと

【主催】公益財団法人日本知的障害者福祉協会　日中活動支援部会　四国地区知的障害者福祉協会　高知県知的障害者福祉協会
【後援】（予定）高知県／高知市／社会福祉法人高知県社会福祉協議会／社会福祉法人高知県知的障害者育成会

令和8年度　日中活動支援部会全国大会
（四国地区　高知大会）

大会テーマ　**『共に生きる未来を、共に語ろう』**

～今、改めて考える“自分らしく生きる”とは～

大会趣旨

日中活動支援事業所は、利用者さん一人ひとりが「自分らしく生きる」ことを実現していくための場です。日中の取り組みを通して、楽しみや役割、達成感を大切にしながら、意思決定支援や社会参加、地域生活支援を重ね、その人の自己実現に寄り添っています。

その支援の根底には、障害の程度や年齢にかかわらず、誰もが生涯にわたって成長し続ける存在であるという考え方があります。この考え方に基づいて、日々の生活の中で、できることや身辺動作の向上といった目に見えやすい変化に加え、人との関わりの深まりや安心できる場の広がり、楽しみや役割の発見、思いの表現といった、暮らしの中で育まれる目に見えにくい変化にも目を向けることを大切にしています。

こうした視点に立つと、事業所の役割は単に活動プログラムを提供することにとどまらず、余暇や生産活動、健康支援といった生活そのものを成長の機会として支えていくことにあります。

また、利用者さんの重度化や高齢化が進む中でも、「今できていることを大切にし、さらにその人らしい広がりを支えていく」という視点が重要です。医療的ケアや障害特性に応じた支援が必要な場合においても、安全・安心を確保しながら、その人らしい生活リズムや楽しみを守ることが求められています。

糸賀一雄 氏※の「この子らを世の光に」という言葉は、知的障害のある人を保護の対象としてではなく、共に社会をつくる主体として、共に発達していく存在として捉える視点を示しています。発達とは単なる能力の向上に留まらず、他者との関係の中で尊厳を守られ、自分らしく生きる力を育んでいく営みです。こうした実践の積み重ねが、日中活動支援事業所を地域の中核的な拠点へと高めていきます。

本大会では、初日に障害福祉サービス施策の動向を確認するとともに、糸賀思想を通して支援のあり方を見つめ直します。二日目は「暮らす・働く・楽しむ」をテーマに分科会を行い、日々の実践を改めて整理することで、本人の尊厳と成長を共に支える社会の実現に向けた、実践的な手立てを共有していきます。

施設長・管理者・サービス管理責任者・支援職員をはじめ、日中活動支援に関わるすべての皆様のご参加を心よりお待ちしております。

※糸賀一雄 氏（1914-1968）
近江学園やびわこ学園での実践を通して、知的障害のある子どもたちの福祉と教育において先駆的な役割を果たし、戦後日本の障害児福祉を切り拓いた。「この子らを世の光に」の理念を掲げ、発達保障の思想の形成と発展に大きな影響を与えた。

会　　場

大 会 会 場：高知市文化プラザかるぽーと
〒781-9529　高知県高知市九反田 2−1　　TEL 088−883−5011
情報交換会：ＡＮＡクラウンプラザホテル高知
〒780-0870　高知県高知市本町４丁目 2−50　TEL 088−873−1111

開 催 日

令和９年２月１８日（木）～１９日（金）

定　　員

大　　会：５００人
情報交換会：３００人

申込期間

令和８年11月２日（月）～12月３日（木）

参 加 費

参 加 費：会員施設　　：１８，０００円
一　　般　　：２３，０００円
情報交換会　：１５，０００円

大会日程

1日目（2月18日）全体会　高知市文化プラザかるぽーと　四国銀行ホール（1階）

11：00	12：30	13：10	14：05	15：25	15：40	16：45	18：30～
受付	開会式	行政説明	基調講演	休憩	座談会	閉会式	情報交換会

11：00　受　付
12：30　開 会 式
13：10　行政説明　「障害保健福祉施策の動向」
～令和９年度障害福祉報酬改定について～
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課（予定）
14：05　基調講演　“できる／できない”の社会を「ヨコへの発達」で問い直す
―糸賀一雄の発達保障の思想と実践から学ぶ―
講　師　鳴門教育大学大学院　学校教育研究科 准教授　垂髪（うない） あかり 氏
15：25　休　憩
15：40　座 談 会　「日中活動支援の本質を語る」～日中活動支援における発達保障とは～
登 壇 者：鳴門教育大学大学院 准教授　垂髪（うない） あかり 氏
日本知的障害者福祉協会 日中活動支援部会 部会長
社会福祉法人みなと舎 理事長　森下 浩明　氏
日本知的障害者福祉協会 日中活動支援部会 高知県代表
社会福祉法人愛成会ワークセンター第二白ゆり 管理者補佐
今西　基　氏
進　　行：高知県知的障害者福祉協会 会長
社会福祉法人高知県知的障害者育成会　香南くろしお園　施設長
石川 俊光　氏

16：45　閉 会 式
18：30　情報交換会　ＡＮＡクラウンプラザホテル高知

2日目（2月19日）分科会　高知市文化プラザかるぽーと　「BILBO ギャラリー」（7階）

9：20	10：00	12：30 終了
開場 受付	分科会	

9：20　開場受付
10：00　分科会開始
・第１分科会「らしく『暮らす』」～その人らしい生活を支える基盤としての健康を考える～
（定員 200 名）
・第２分科会「らしく『働　く』」～できることをできる場所で～
（定員 200 名）
・第３分科会「らしく『楽しむ』」～演劇や音楽を通して生活をよりか豊かに～
（定員 100 名）
※分科会は、かるぽーと７階 BILBO ギャラリーの３会場で実施いたします。
※諸事情により登壇者等を変更する場合があります。
12：30　終　了

第１分科会　「らしく『暮らす』」 ～その人らしい生活を支える基盤としての健康を考える～

健康は、生活そのものを支える基盤となるものです。

WHO（ 世界保健機関 ）が示す健康とは、肉体面、精神面のみならず社会とのつながりもその重要な要素としています。社会の一員として役割を持ち、安心できる人間関係を築くことで、その人「らしい」豊かな生活を営むことに繋がります。そのために、私たちには一人ひとりの生活歴や価値観を大切にし、意思を尊重した本人主体の支援の積み重ねが求められます。

本分科会では、知的障害のある方の健康を「その人らしい生活を支える力」として捉え、当事者の方とその力に寄り添う支援者の視点をとおし、「自分らしく暮らす」とは何かを参加者の皆様と共に考えていきたいと思います。

プログラム

10：00　講　　演：「自分の生きたい人生を、生きる本人と一緒に考える」
～なぜ、私たちは「健康」でありたいのか～
講　　師　彩社会福祉士事務所　　代表　坂本　　彩　氏（滋賀県）
対 談 者　Quocare 就労継続支援 B 型 / 知的障害当事者　　横川　豊隆 氏（滋賀県）

11：25　休　　憩

11：40　グループディスカッション
「『らしく暮らす』とは何か、その実現のために私たちにできることとは何か」
コーディネーター兼進行：社会福祉法人新友会 ひまわりの家
施設長　小塩　桂史　氏（大分県）

12：20　グループ報告

12：30　終　　了

第２分科会　「らしく『働く』」 ～できることをできる場所で～

知的障害のある方が「その人らしく働く」とは、一人ひとりの得意なことや好きなことを大切にし、できることをできる場所で行いながら自分に合った形で社会と関わり合っていくことです。また、それはその人が持っている力（可能性）を安心して発揮していくことに繋がります。しかし実際は、さまざまな要因により、その実現が難しい場面が少なくありません。こうした現状をふまえ、「その人らしさ」を大切にした働き方について、改めて考えていきます。

私たち支援者は、本人の思いや希望にどれだけ寄り添っているでしょうか。知らず知らずのうちに、「できること・できないこと」を決めつけてしまい、良かれと思った支援が結果として本人の選択肢を狭めていませんか。「働く」の形は、一つだけではないはずです。

本分科会では、専門的な理解を深める講演に加え、実践報告を通して、多様な「働く」のあり方に触れます。ユニークな取り組みや収入を得ていく実践、また重度障害がある方にとって「働く」とは何か、といった視点から大切な価値観を見つめ直します。

様々な実践の学びから、「その人らしく働く」とは何か、多様な「働く」の可能性について、参加者の皆様と共に考える機会としたいと思います。

プログラム

10：00　講　　演：それぞれの「働く」をとおして、だれもが輝く社会をつくる
　　講　　師　高知県立大学 社会福祉学部　　准教授　遠山　真世　氏（高知県）
10：50　休　　憩
11：05　実践報告とシンポジウム
　　報　告①　　幻のうどん店～地域で愛されるお店を目指した 20 年と、一人ひとりの「働く」カタチ～
　　社会福祉法人 たんぽぽの会　ワークプラザ・たんぽぽ
　　サービス管理責任者　飯間　仙三　氏（香川県）
　　報　告②　　「働く」は給料だけじゃない ～重症心身障がいのある人が地域に生み出す価値～
　　社会福祉法人 あゆみの家　林町デイセンター
　　所長　神﨑　勝弘　氏（岐阜県）
　　報　告③　　「すべての利用者が工賃支給の対象となる仕組み・視点を考える」
　　社会福祉法人 太田松翠会　かなやま学園
　　施設長　小川　和男　氏（群馬県）

　　助 言 者：高知県立大学 社会福祉学部　　准教授　遠山　真世　氏
　　コーディネーター兼進行：日本知的障害者福祉協会　日中活動支援部会 部会長
　　社会福祉法人 みなと舎　　理事長　森下　浩明　氏（神奈川県）
12：30　終　　了

第３分科会　「らしく『楽しむ』」～演劇や音楽を通して生活をより豊かに～

余暇とは、単に楽しみや気分転換のみならず、地域や仲間との交流をとおして主体性や社会性を育む機会となり、心身の健康や「自分らしく生きる」ことに直結する必要不可欠な活動といえます。

好きなことや興味のある活動への参加、新しいことへの挑戦など、自己を表現し、自身の存在を実感することで、その人「らしさ」が発揮され、より豊かな生活に繋がっていくものと考えます。

本分科会では、余暇活動を楽しみながら成長や発達を支えるものとして捉え、その意義を再確認すると共に、演劇活動やミュージック・ケアの実践報告を通し、「その人らしく楽しむ」ことができるような支援の在り方について学び合いたいと思います。また、ミュージック・ケアの体験ワークショップを通して、参加者自身が楽しさや心地よさを体感しながら、余暇活動がもつ力や可能性について理解を深める機会としたいと思います。

プログラム

10：00　実践報告とシンポジウム
　　報　告①　活動から繋がる地域へ　～演劇やイベントで、街に飛び出す～
　　社会福祉法人 共生シンフォニー　まちかどプロジェクト
　　施設長　上田　芳雄　氏（滋賀県）
　　報　告②　一緒に楽しみ、らしさを発見　～ミュージック・ケアの活動を通して毎日に彩りを～
　　社会福祉法人 高知県知的障害者育成会　ウイッシュかがみの
　　サービス管理責任者　上田　拓郎　氏（高知県）
　　コーディネーター兼進行：社会福祉法人 歓びの園　みゆき広場　　施設長　秦　昌志　氏（広島県）
11：20　休　　憩
11：35　ミュージック・ケア　ワークショップ
　　NPO 法人 日本ミュージック・ケア協会
　　認定指導者　同監事
　　高知県ミュージック・ケア研究会
　　代表　岩城　美喜江　氏（高知県）
12：30　終　　了

【大会事務局】
令和８年度日中活動支援部会全国大会　四国地区高知大会事務局　担当：和田
〒７８１－５４５２　高知県香南市香我美町下分９６０－１　香南くろしお園
電話：０８８７－５５－３１３０　Email：info.nksb.kochi@gmail.com